

“オリーブオイルに恋して！～オリジナルの味を追求中～”



河野 嘉徳（国東市）
令和2年就農
オリーブ、水稻、エゴマほか



就農のきっかけと現在の取組

平成25年、父が退職を機にオリーブ栽培を始め、耕作放棄地に300本を定植しました。父のオリーブ栽培を継承するため農業大学校卒業後、オリーブの先進地である香川県小豆島での研修や国東市のオリーブを生産・加工する農業法人で栽培を学び、令和2年に親元就農。就農4年目です。

家族3人で苦味の強い品種や辛味のある品種など20品種を栽培・加工しています。オリーブオイルソムリエJrも取得し、品種や収穫時期によって異なる風味を見極め、特徴を最大限に活かした高品質なオリーブオイルの配合を目指しています。自家製オイルが「オリーブサミット2022inひおき・オリーブオイル品評会」や「OLIVE JAPAN2022 国際オリーブオイルコンテスト」で金賞を受賞しました。

オリーブオイルは奥が深く、今は恋愛よりもオリーブに恋しています。

現在、大分県農業青年連絡協議会の副会長も務め、若手農業者を盛り上げています。

[河野農園・Instagram写真と動画](#)

今後の展望と皆さんへ一言

JAおおいたくにさきオリーブ部会ではオリーブオイル搾油に伴う搾油粕は産業廃棄物となり、処理に困っている現状でした。そこで去年から、オリーブの搾油粕に牛ふん、もみ殻等を混ぜて堆肥化を行っています。

『オリーブの堆肥で育った国東のオリーブ』で資源循環型農業を実践し、国東オリーブが全国に広がることを目指しています。



令和6年6月作成

大分県農業青年連絡協議会

農業に携わる若手で結成されたグループで、活動の中心は、農業経営で直面する課題の解決や新技術の導入を検討するプロジェクト活動です。他にも消費者や会員の相互交流、資質向上に係る研修会を行っています。

大分県HP
「大分県農業青年連絡協議会」

